

令和7年度 所属モニタリング評価表

1. 施設の概要等

施設の概要

施設の名称		YONETSU－KANささおか		担当課	清掃センター	
所在地		あわらし市笹岡第32号88番地2		開設年月日	平成8年10月	
施設設置目的		圏域住民の福祉増進に寄与するとともに、健康と体力づくりの増進を図るため				
施設内容		敷地面積 12,000㎡ 延床面積 2,600㎡ 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建 【プール】流水プール・25m×3コース直線プール・幼児用プール ウォータースライダー・ジャグジー 【お風呂】一般風呂・薬風呂・水風呂・露天風呂・サウナ 【その他】フォレストラウンジ・レストラン・談話室・ゲームコーナー・授乳室 コワーキングスペース・多目的芝生広場・駐車場				
指定管理者		イワシタ物産株式会社		選定方法	公募	
指定期間		令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日（5年間）（1年目）				
指定管理者の 主な業務		YONETSU－KANささおかの管理運営に関する基本協定書、YONETSU－KAN ささおか管理運営業務仕様書等に定めた業務 ①管理運営に関する業務 （利用の案内・受付、利用料徴収、プール監視、設備機器運転及び監視保守、 広報、多目的芝生広場管理、自主事業の実施等） ②維持管理業務 （保安警備、清掃、各設備保守管理業務等）				
利用料金制の導入		(有) ・ 無		指定管理料		(有) ・ 無
施設 の 利用 状況 等	指標(単位)	利用目標	利用実績	前年度実績	対目標比	対前年比
	入館者数(人)	132,000	115,400	152,479	87.42%	75.68%
	利用料収入(円)	43,408,000	45,122,150	50,008,050	103.95%	90.23%
	自主事業収入(円)	39,468,000	36,109,508	45,353,394	91.49%	79.62%
	【特記事項】 令和7年4月～6月 改修工事のため休館					

	指定管理者収支内訳		
	項目	予算額	決算額
収入	指定管理料	45,800,000	45,800,000
	施設入館料	43,408,000	45,122,150
	談話室利用料	150,000	154,500
	自主事業収入	39,468,000	36,109,508
	休業補償金	0	780,000
	計	128,826,000	127,966,158
支出	人件費	54,390,000	54,958,108
	消耗品費	5,400,000	7,219,962
	水道光熱費	26,462,000	27,183,854
	修繕料	2,000,000	2,565,352
	広告宣伝費	2,500,000	1,243,485
	通信料	300,000	215,354
	保険料	400,000	330,770
	委託料	8,114,000	6,480,710
	リネン費	1,350,000	964,374
	原材料費	18,783,000	19,461,206
	その他	12,132,000	13,959,419
	計	131,831,000	134,582,594
損益		△ 3,005,000	△ 6,616,436

2. 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		調査対象	入館者
	調査方法	受付で入館者に無作為配布・アンケートBOX・電子アンケート			
調査結果	【調査対象数】 146人 （男性 52人、女性 94人、未回答 0人） 【利用者の満足度】 大変満足 70.9% やや満足 21.8% ふつう 5.5% やや不満 0% 大変悪い 1.8%				
利用者からの 意見・要望等	○ きれいでまた来たい ○ プールの室温がちょうど良い ○ プールとお風呂の利用でこの料金はすばらしい ○ ソースカツ丼がおいしかった ○ これからも孫を連れて遊びに来ます ○ サウナは熱すぎず施設がきれい ○ 替わり風呂の香りがいい ○ 夏のクール替わり湯やシャンプーがよかった ○ 夜遅くまでやっていてすばらしい ● 女子トイレで煙草を吸っている人がいる ● ドライヤーが混雑するので性能の良いものに変えるか、持込みドライヤーを許可してほしい ● プールで飛び込みする子ども達へ係員が注意するまで時間がかかっていた ● 流行りものの販売を増やしてほしい ● Wi-Fiの接続が悪い ● 露天風呂の葉がひどい ● 子ども風呂をぬるくしてほしい ● 休館日を少なくしてほしい ● 長期休館の周知が弱い ● 夏場の混雑がひどい ● 温かいコーヒーを販売してほしい ● もう少し価格を下げてほしい ● ヘルシーなメニューがあるといい ● ミニサイズのメニューをもっと増やしてほしい				

3. 指定管理者の自己評価

自己評価	新しい5ヵ年の初年度となります。4月～6月の長期休館を得ての営業再開となる予定でしたが、7月中旬までの休館の延長や、その後の度々の休業も影響して目標値を下回る結果となりました。 令和8年1月以降は臨時休館も落ち着き安定した営業が出来る状態となりましたが、令和7年中のマイナスを取り戻すには至りませんでした。新しい指定期間のスタートということもあり、新札対応の券売機(入浴、食券)購入や、飲食厨房の設備更新、物販用の冷蔵ショーケース導入等を行いました。お客様の利便性の向上や調理提供時間の短縮に繋がり、満足度に貢献しました。 一方で、運営費や材料費の高騰が続き、対応に追われる1年でもありました。利用料金改定の協議や飲食メニューの原価管理に基づくメニュー構成の再検討などを行うことで健全な運営が維持できるよう努めました。 また、水道光熱費はコントロールを強化し、極力節約を試みました。営業面についても、休館日を使用しての接客研修、新メニューの開発、冷蔵ショーケースを活用したフルーツ販売、様々なイベントを行い、厳しい状況の中でも積極的なサービス展開を行いました。状況が苦しい中でも令和7年8月は過去最高の利用者となり、喜ばしい結果となりました。 本年度は、厳しい状況の中でも現実に向き合い先を見据えた対応が出来た点、積極的な営業を行い結果が出せた点は、評価に値すると判断しています。
------	--

4. 組合の評価

指定管理の成果等	・新たな商品を取り入れるなど、工夫した施設運営を行っている。 ・利用満足度が向上したのは評価できるが、利用者アンケート数が少ないので、調査結果として疑問が残る。 ・自主事業で、飲食事業や物品販売事業、イベント企画等努力をしているのは、評価できるが、物価高騰で経費がかかり、収益にはつながっていない。しかし、再検討をして改善努力をしているので、今後の成果に期待する。 ・多彩なイベントを企画し、老若男女の集客向上に努めている。 ・意見、苦情の内容と対応状況の内容は、利用者の施設利用モラルに対する案件が半数以上で、指定管理不足の案件は小数であった。
今後の課題	・来場者は広域圏内が約7割を占めており、更に広く周知等を行い、新たな来場者の獲得に努めていただきたい。 ・有資格者を増員し、主担当者が不在でも対応できるようにする。 ・地産地消を推進する。 ・備品で10年経過して、毎年修理しているものがある。部品等がなくなり、修理できなくなってから対応を考えるのではなく、計画的に入替等を検討する。 ・一部でQR決裁を導入し、キャッシュレス化に対応しているものの、券売機の支払方法が現金のみとなっている。今後、お客様の多様な支払方法に対応するためにも、早期に券売機のキャッシュレス化を進めるべきである。 ・談話室の利用について、前年を上回る利用があったが、依然として低調である。お客様にもっと談話室を利用してもらえるよう、積極的な周知やイベントを企画する等、工夫が必要である。 ・集客について、10月が毎年一番集客が少ない月となっている。この点の原因を分析し、集客に繋がるようなイベントを企画する等、工夫が必要である。

判断の基準		指定管理者 自己評価	組合評価
S	極めて良好		
A	良好	A	B
B	標準		
C	要改善		
D	早急な改善が必要		